

2024年合格目標
基礎マスター・速修コース

簿記論

第1回 体験講義用テキスト

TAC税理士講座



TAC

簿記論・基礎マスターコースの使用教材及び各教材の配布時期は以下のとおりです。

教材名	No.1	No.2	No.3	No.4
基本テキスト	○	○	○	○
トレーニング	○	○	○	○
トレーニングシート	○	○	○	○
ミニ・実力テスト	各月の授業回数に応じて配布			

《税理士試験の受験手続き》

1 受験案内及び申込用紙の交付

(1) 交付期間：例年4月中旬から5月中旬

(2) 交付場所：試験公告に記載された各国税局及び沖縄国税事務所

2 受験申込みの受付

受付期間：例年5月上旬から5月中旬

なお、TACでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続きは必ずご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

簿記論・速修コースの使用教材及び各教材の配布時期は以下のとおりです。

教材名	No.1	No.2	No.3	No.4
基本テキスト	○	○	○	○
トレーニング	○	○	○	○
トレーニングシート	○	○	○	○
ミニ・実力テスト	各月の授業回数に応じて配布			

《税理士試験の受験手続き》

1 受験案内及び申込用紙の交付

(1) 交付期間：例年4月中旬から5月中旬

(2) 交付場所：試験公告に記載された各国税局及び沖縄国税事務所

2 受験申込みの受付

受付期間：例年5月上旬から5月中旬

なお、TACでは受験申込の代行は行っておりません。受験申込手続きは必ずご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

① 使用教材の内容

1 基本テキスト

学習の中心となる説明用教材です。図表をふんだんに盛り込むことにより、全体像やポイントを分かりやすく解説しています。また、設例を多く入れることにより、1つ1つの内容を確認しながら学習を進めることができるようになっています。

2 トレーニング・トレーニングシート（解答用紙）

基本テキストで学習した内容を問題形式で確認するための演習用教材です。基本テキストと連動し、段階的にレベルアップできるようになっています。

基本テキストの内容と対応する問題は、基本テキストの「コントロールタワー」で確認ができるようになっています。

3 ミニテスト

前回の学習内容を中心に、前回までの学習内容が消化できているかを確認するための復習テストです。基本的に前回の学習内容が消化できていれば満点が取れるようになっています。

毎回の学習に先立って解くことにより、前回の学習内容の理解度を確認するバロメーターとして利用できるようになっています。

4 実力テスト

一定期間ごとに、既に学習した内容が消化されているかを確認するとともに、総合的な理解度をチェックするための復習テストです。後日公表される平均点や得点順位なども参考にして、今後の学習方法や学習計画に役立てるようにしてください。

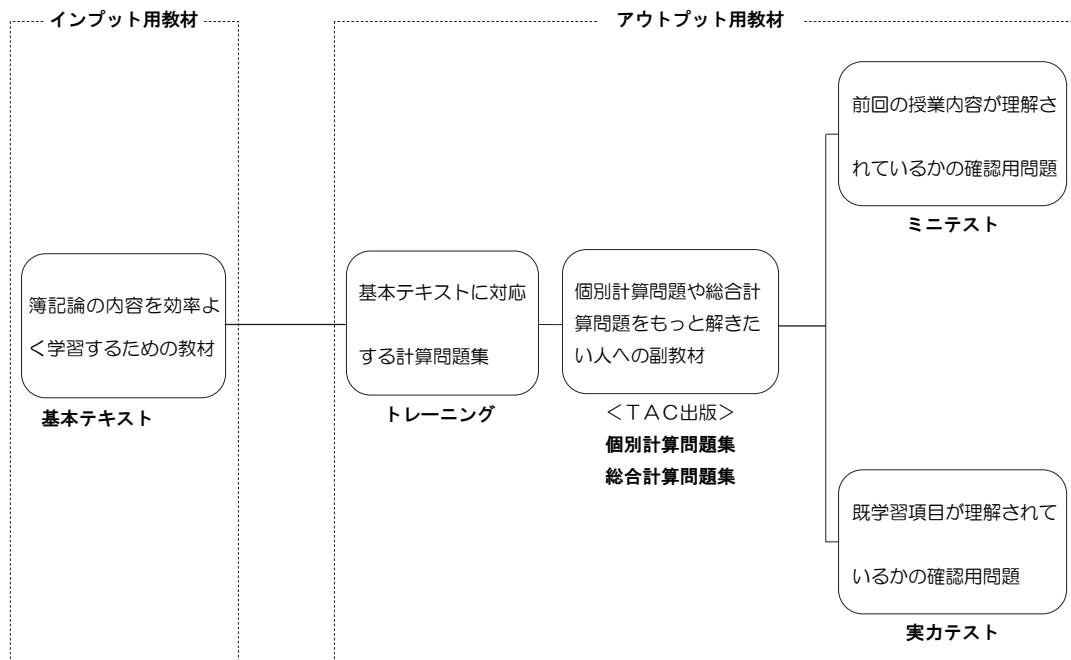
5 その他

上記のほかに、TAC出版から次の問題集が順次刊行されていきます。自宅学習用として弱点の補強などに利用できるようになっています。

- ・個別計算問題集
- ・総合計算問題集（基礎編）
- ・総合計算問題集（応用編）
- ・過去問題集など

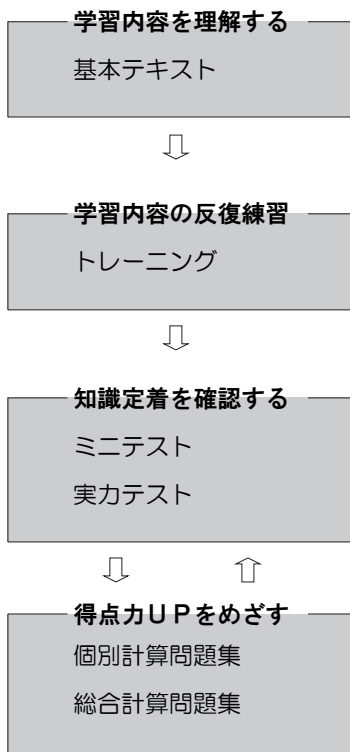
【各教材の体系】

各教材の体系は次のとおりです。



② 各教材を利用した学習の基本的な流れ

上記の教材を利用して学習を進めていく場合の基本的な流れは、次のようになります。



③ 基本テキストの構成

1 コントロールタワー

基本テキストの最初に収録しているもので、いわゆる目次に相当します。授業回数ごとに学習内容やこれに対応するトレーニングや理論マスターの番号などを示しています。

2 学習内容の全体系

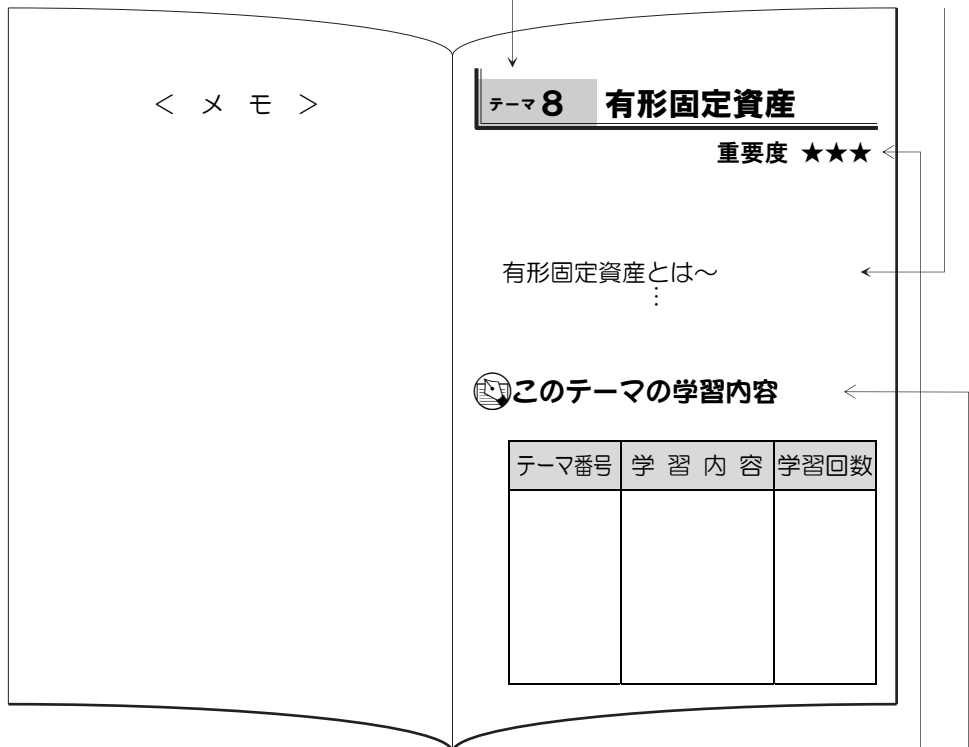
直前期を除いて各コースで学習するテーマの全体像と、どのテキストで学習するのかを示しています。

3 テーマごとの構成内容

テーマごとのテキストの構成は、次のようになっています。

テーマ番号・テーマ内容を示します。

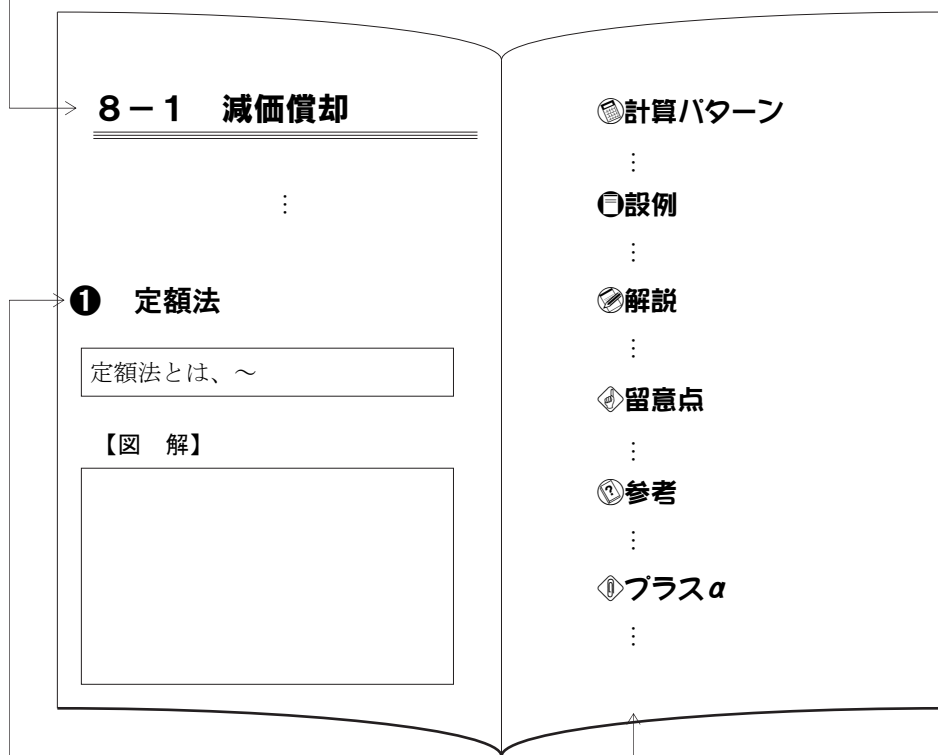
テーマの趣旨や概要を示します。



テーマの重要度を示します。★の数が多いほど重要度が高くなります。

テーマ内の学習内容と学習する回数を示します。

テーマを細分化した論点です。



論点を細分化した内容解説です。図解などを用いて説明していますので、読んで理解できるようになっています。

説明の文章は、必要に応じて記号で示された内容ごとに区別していますので、一貫性があり、効果的に学習できるようになっています。

【各記号の内容】

- ① 計算パターン ⇒ 複数の論点を横断するまとめの計算式を示します。
- 📄 設例 ⇒ 各論点の理解を深めるための例題を示します。
- 📖 解説 ⇒ 設例に対する解答及び解説を示します。
- 📌 留意点 ⇒ 注意してほしい補足事項及び重要事項を示します。
- ❓ 参考 ⇒ 補足的な参照規定などを示します。
- 📌 プラスα ⇒ 補足説明、未出題論点及び応用論点などを示します。
- 🔍 研究 ⇒ さらに深く学習する場合の説明などを示します。

(注) 説明の内容により、すべての記号が使用されるわけではありません。

<メ 毛>

簿記論 基礎マスターコース 基本テキストNo.1 コントロールタワー

回数 教材	学習内容	テキスト	トレーニング
第1回	簿記一巡の手続	P. 1 } P. 20	問題1 } 問題7
第2回	債権・債務 現金・預金(1)	P. 21 } P. 41	問題8 } 問題14
第3回	現金・預金(2) 手形 貸倒引当金(1)	P. 42 } P. 67	問題15 } 問題26
第4回	貸倒引当金(2) 人件費(1) 一般商品売買(1)	P. 68 } P. 93	問題27 } 問題39
第5回	一般商品売買(2)	P. 94 } P. 120	問題40 } 問題48
第6回	有形固定資産・無形固定資産(1)	P. 121 } P. 145	問題49 } 問題61
第7回	有形固定資産・無形固定資産(2) ソフトウェア(1) 研究開発費	P. 146 } P. 170	問題62 } 問題77
第8回	外貨建取引等(1) 実力テスト(通信答案提出回)	P. 171 } P. 177	問題78 } 問題81

簿記論 速修コース 基本テキストNo.1 コントロールタワー

回数 教材	学習内容	テキスト	トレーニング
第1回	簿記一巡の手続	P. 1 } P. 20	問題1 } 問題7
第2回	債権・債務 現金・預金(1)	P. 21 } P. 41	問題8 } 問題14
第3回	現金・預金(2) 手形 貸倒引当金(1)	P. 42 } P. 67	問題15 } 問題26
第4回	貸倒引当金(2) 人件費(1) 一般商品売買(1)	P. 68 } P. 93	問題27 } 問題39
第5回	一般商品売買(2)	P. 94 } P. 120	問題40 } 問題48
第6回	有形固定資産・無形固定資産(1)	P. 121 } P. 145	問題49 } 問題61
第7回	有形固定資産・無形固定資産(2) ソフトウェア(1) 研究開発費	P. 146 } P. 170	問題62 } 問題77
第8回	外貨建取引等(1) 実力テスト(通信答案提出回)	P. 171 } P. 177	問題78 } 問題81

テーマ	学 習 内 容	基本テキスト			
		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
1	簿記一巡の手続	●			
2	債権・債務	●			
3	現金・預金	●			
4	手形	●			
5	貸倒引当金	●	●		
6	人件費	●		●	
7	一般商品売買	●			
8	有形固定資産・無形固定資産	●	●	●	
9	ソフトウェア	●		●	
10	研究開発費	●			
11	外貨建取引等	●		●	
12	株主資本		●		
13	税金		●	●	
14	社債		●		
15	有価証券		●	●	●
16	新株予約権		●		
17	繰延資産			●	
18	製造業会計			●	
19	本支店会計				●
20	財務諸表				●
21	会計上の変更・誤謬の訂正	上級コース 又は 直前期			
22	推定簿記				●
23	組織再編				●
24	連結財務諸表				●
25	ヘッジ会計				●
26	取締役の報酬等	上級コース 又は 直前期			
27	特殊商品売買	上級コース 又は 直前期			
28	収益認識				●

(注) No.2以降で論点の変更が生じる可能性があります。

教材のご利用方法

(1) 基本テキスト

- ▽ 授業及び復習時における論点のインプット・ツールとなります。論点説明で論点の
- ▽ 概要を理解し、設例を通じて具体的な会計処理や金額の計算方法について正確な知識
- ▽ を身につけていきます。

(2) トレーニング

- ▽ 授業及び復習時における論点のアウトプット・ツールとなります。トレーニングの
- ▽ 問題はスムーズに解答できるまで、繰り返し何度も練習しましょう。

(3) ミニテスト

- ▽ 前回の授業内容についての確認テストとなります。復習の成果をどこまで発揮でき
- ▽ るか、チャレンジしてみましょう。

(4) 実力テスト

- ▼ テキスト1冊につき1回実施するテストです。出題内容はその月までに学習した論
- ▼ 点で、出題形式は総合問題が中心となります。学習進度に合わせて、その時点での実
- ▼ 力を総チェックしましょう。

(5) 市販問題集

論点について、より多くの問題にチャレンジしたい、理解をより深く掘り下げたい、本試験形式の問題にチャレンジしたいというときには、市販問題集をお薦めします。

- ① **個別計算問題集**…応用的な個別問題となります。
- ② **総合計算問題集（基礎編・応用編）**…構造論点のフレームに重点をおいた総合問題となります。

< ム ㇿ >

財務諸表の様式

貸借対照表

(資産の部)

I 流動資産

現金及び預金
 受取手形
 貸倒引当金 (△)
 売掛金
 貸倒引当金 (△)
 有価証券
 商品
 貯蔵品
 前渡金
 前払費用
 未収収益
 短期貸付金
 貸倒引当金 (△)
 未収金
 為替予約
 ⋮

II 固定資産

1 有形固定資産
 建物
 減価償却累計額 (△)
 車両運搬具
 減価償却累計額 (△)
 器具備品
 減価償却累計額 (△)
 ⋮
 土地
 建設仮勘定
 2 無形固定資産
 のれん
 借地権
 特許権
 ソフトウェア
 ⋮
 3 投資その他の資産
 投資有価証券
 関係会社株式
 破産更生債権等
 貸倒引当金 (△)
 ⋮

繰延税金資産

III 繰延資産

(負債の部)

I 流動負債

支払手形
 買掛金
 短期借入金
 未払金
 未払費用
 未払法人税等
 未払消費税等
 前受金
 預り金
 前受収益
 賞与引当金
 ⋮

II 固定負債

社債
 長期借入金
 ⋮
 退職給付引当金
 ⋮
 繰延税金負債

(純資産の部)

I 株主資本

1 資本金
 2 資本剰余金
 (1) 資本準備金
 (2) その他資本剰余金
 3 利益剰余金
 (1) 利益準備金
 (2) その他利益剰余金
 新築積立金
 ⋮
 別途積立金
 繰越利益剰余金
 4 自己株式 (△)

II 評価・換算差額等

1 その他有価証券評価差額金
 2 繰延ヘッジ損益
 ⋮

III 株式引受権

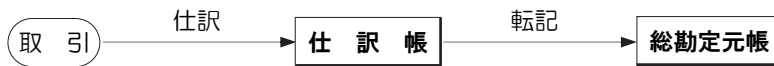
IV 新株予約権

損 益 計 算 書

- I 売上高
- II 売上原価
 - 1 商品期首たな卸高
 - 2 当期商品仕入高
 - 合 計
 - 3 他勘定振替高
 - 4 商品期末たな卸高
 - 差 引
 - 5 商品評価損
 - 売上総利益
- III 販売費及び一般管理費
 - 給料手当
 - 賞与手当
 - 役員報酬
 - 旅費交通費
 - 修繕費
 - 支払手数料
 - 租税公課
 - 研究開発費
 - 貸倒損失
 - 商品減耗損
 - 減価償却費
 - のれん償却
 - 特許権償却
 - ソフトウェア償却
 - 貸倒引当金繰入額
 - 賞与引当金繰入額
 - 退職給付費用
 - ⋮
 - 営業利益

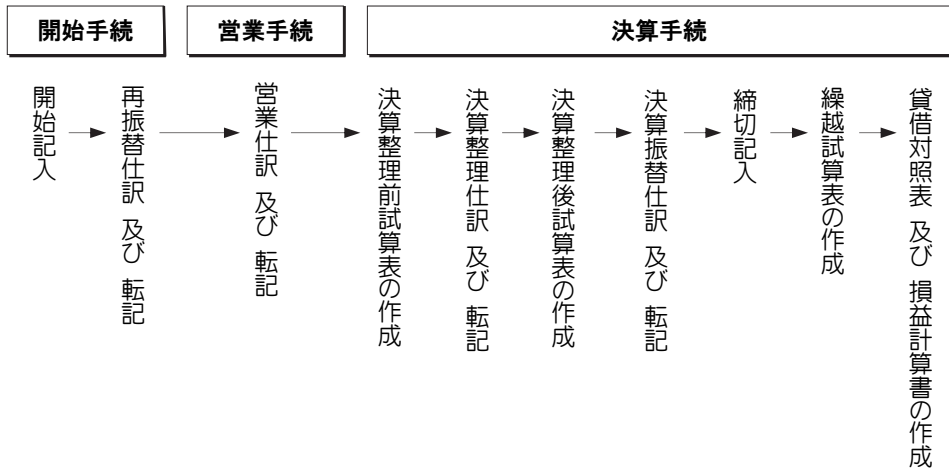
- IV 営業外収益
 - 受取利息
 - 有価証券利息
 - 受取配当金
 - 仕入割引
 - 有価証券運用益
 - 為替差益
 - 雑収入
 - 償却債権取立益
 - ⋮
- V 営業外費用
 - 支払利息
 - 社債利息
 - 売上割引
 - 手形売却損
 - 有価証券運用損
 - 為替差損
 - 雑損失
 - ⋮
 - 経常利益
- VI 特別利益
 - 有形固定資産売却益
 - 保険差益
 - 投資有価証券売却益
 - ⋮
- VII 特別損失
 - 有形固定資産売却損
 - 有形固定資産除却損
 - 火災損失
 - 減損損失
 - 投資有価証券売却損
 - ⋮
 - 税引前当期純利益
 - 法人税、住民税及び事業税
 - 法人税等調整額
 - 当期純利益

記帳の流れ

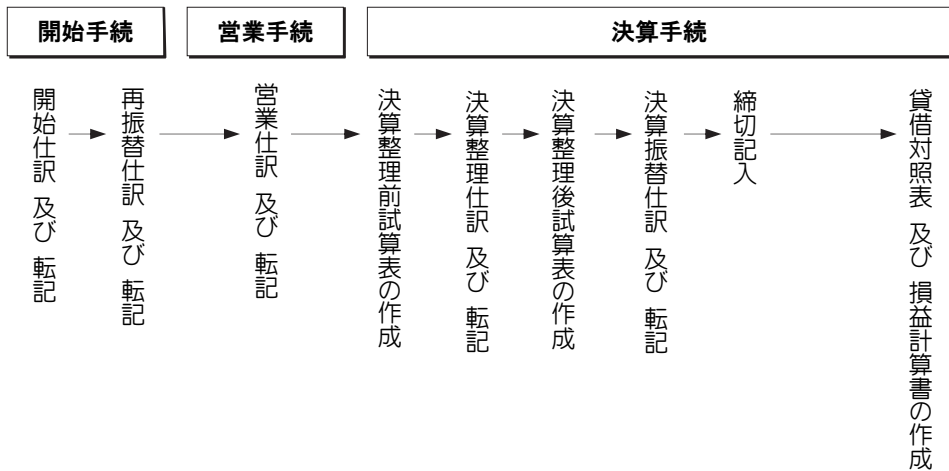


補 助 簿	
小口現金支払帳	買掛金(仕入先)元帳
現金出納帳	売掛金(得意先)元帳
当座預金出納帳	商品有高帳
仕入帳	有価証券台帳
売上帳	固定資産台帳
受取手形記入帳	
支払手形記入帳	

英米式簿記法による簿記一巡の手続



大陸式簿記法による簿記一巡の手続



仕訳帳（主要簿）

正式な仕訳の記帳方法は、次に示すとおりとなる。

- ① 日付欄：取引が同じ日に生じた場合には、「//」の記号を用いるのが一般的である。
- ② 摘要欄：勘定科目を記入する。ただし、次の点に注意すること。
 - (a) 摘要欄の左側半分を借方、右側半分を貸方とする。
 - (b) 勘定科目は、1勘定科目につき1行で記入し、原則として借方を上に貸方を下に記入する。ただし、借方が複数で貸方に1個しか勘定科目が記入されないときは、貸方を上に借方を下に記入する。
 - (c) 勘定科目には（ ）を付す。
 - (d) 借方または貸方の勘定科目が複数になる場合には、その上に「諸口」と記入する。
この「諸口」には（ ）を付さない。
- ③ 小書き：仕訳の都度、仕訳内容を簡単に説明する。ただし、学習簿記では省略されることが多い。
- ④ 元丁欄：総勘定元帳への転記を行うにあたって、総勘定元帳のページ数または勘定番号を記入する。元丁欄ともいう。
- ⑤ 金額欄：借方の勘定科目に対する金額を借方欄に、貸方の勘定科目に対する金額を貸方欄に、それぞれの勘定科目を記入した行と同じ行に記入する。
- ⑥ 区分線：一つの仕訳ごとに摘要欄に単線を引く。ただし、ページの最後となった場合には、区分線を引く必要はない。
- ⑦ 合計線：これより前に記入された金額について、合計額を算定する。なお、合計線は金額欄の幅で引かれる。
- ⑧ 締切線：仕訳帳の締切にあたり、前後の記録を区分するために引かれる。なお、締切線は金額欄の幅で引かれる。

①		②		仕 訳 帳			④	⑤
日	付	摘 要		元 丁	借 方	貸 方		
8	28	(売 掛 金)		2	8,000			
		(売 上)		9		8,000		
		掛売上						
		諸 口 (有 価 証 券)		4		1,500		
		(当 座 預 金)		1	1,400			
		(有価証券売却損益)		15	100			
		有価証券の売却						
		合 計			9,500	9,500		

総勘定元帳（主要簿）

正式な勘定の形式、記入方法及び締切方法は、次に示すとおりである。ただし、学習簿記では簡便的にT勘定で示すことが多い。

(1) 勘定の記入方法

- ① 勘定科目：記録する項目を示す。
- ② 日付欄：取引が行われた日付を記入する。なお、同じ日付が連続する場合には「〃」の記号を用いる。
- ③ 摘要欄：相手勘定科目を記入する（詳細は下記(2)参照）。
- ④ 仕丁欄：転記元である仕訳帳のどの頁から転記がされてきたかを記入する。
- ⑤ 金額欄：取引金額を記入する。
- ⑥ 合計線：これより前に記入された金額について、合計額を算定する。なお、合計線は金額欄の幅で引かれ、記録が1行しかない場合には、合計線は不要となる。
- ⑦ 締切線：勘定の締切にあたり、前後の記録を区分するために引かれる。なお、締切線は金額欄の幅で引かれる。
- ⑧ 余白線：勘定の締切にあたり、余白がある場合には摘要欄に斜線を引き、以後の記入ができないようにする。なお、余白線を引く場合は、合計線を延ばして余白線と繋げる。

(単位：円)

日付	摘要	仕丁	金額	日付	摘要	仕丁	金額
4/1	前期繰越	1	10,000	6/10	買掛金	2	8,000
7/20	借入金	3	4,000	2/25	営業費	5	1,000
8/17	受取利息	4	3,000	3/31	次期繰越	6	15,000
〃	売掛金	4	7,000				
			24,000				24,000

② ↓
③ ↓
④ ↓
⑤ ↓
← ① 金

⑥ ↗
⑦ ↑
⑧ ↖

(2) 摘要欄の記入方法

- ① 相手勘定科目を記入する。
- ② 相手勘定科目が複数ある場合には、「諸口」と記入する。
- ③ 記録内容を一覧する機能を有する勘定（損益勘定や残高勘定など）については、相手勘定科目が複数であっても「諸口」とはせず、相手勘定科目をすべて記入する。
- ④ 資産、負債及び純資産勘定の期首残高及び期末残高について、大陸式簿記法の場合には「諸口」及び「残高」と記入する。

補助簿

I 現金出納帳

現金の記録を現金勘定という単一勘定で処理をすると、現金取引の内訳明細を把握することはできない。そこで、この欠点を補うために、主要簿（仕訳帳及び総勘定元帳）の他に補助簿を設定し、現金取引の内訳明細を取引の発生順に把握する場合がある。この補助簿を現金出納帳という。

現金出納帳

(単位：円)

日付	摘 要	収 入	支 出	残 高
4/1	前期繰越	6,000		6,000
4/10	甲商店へ売上	1,000		7,000
4/15	乙商店へ掛代金支払		3,000	4,000
4/30	次月繰越		4,000	
		7,000	7,000	

II 小口現金支払帳

小口現金の記録を小口現金勘定という単一勘定で処理をすると、小口現金取引の内訳明細を把握することはできない。そこで、この欠点を補うために、主要簿（仕訳帳及び総勘定元帳）の他に補助簿を設定し、小口現金取引の内訳明細を取引の発生順に把握する場合がある。この補助簿を小口現金支払帳という。

小口現金支払帳

(即日補給の場合)

(単位：円)

受 入	日付	摘 要	支 払	内 訳		
				通信費	消耗品費	雑 費
30,000	4/1	前期繰越				
	4/10	郵便切手	9,000	9,000		
	4/15	文房具代	6,000		6,000	
	4/25	新聞代	5,000			5,000
		合 計	20,000	9,000	6,000	5,000
20,000	4/30	本日補給				
	〃	次月繰越	30,000			
50,000			50,000			

Ⅲ 当座預金出納帳

当座預金の記録を当座預金勘定という単一勘定で処理をすると、当座預金取引の内訳明細を把握することはできない。そこで、この欠点を補うために、主要簿（仕訳帳及び総勘定元帳）の他に補助簿を設定し、当座預金取引の内訳明細を取引の発生順に把握する場合がある。この補助簿を当座預金出納帳という。

当 座 預 金 出 納 帳

(単位：円)

日付	摘 要	預 入	引 出	借／貸	残 高
4/1	前期繰越	6,000		借	6,000
4/10	B商店へ掛代金支払 No.1201		2,000	〃	4,000
4/15	C商店より掛代金回収	3,000		〃	7,000
4/30	次月繰越		7,000		
		9,000	9,000		

Ⅳ 売掛金元帳と買掛金元帳

売掛金の記録を売掛金勘定という単一勘定で処理をすると、各得意先別の売掛金の明細を把握することはできない。そこで、この欠点を補うために、主要簿（仕訳帳及び総勘定元帳）の他に補助簿を設定し、各得意先別の売掛金の明細を把握する場合がある。この補助簿を売掛金元帳（得意先元帳）という。

なお、買掛金勘定も同様の理由から買掛金元帳（仕入先元帳）を設定する場合がある。

売 掛 金 元 帳

A 株式会社

(単位：円)

日 付	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
4 1	前期繰越	✓	50,000		借	50,000
5	掛 売 上	1	20,000		借	70,000

B 株式会社

(単位：円)

日 付	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
4 1	前期繰越	✓	90,000		借	90,000
10	当 座 回 収	1		50,000	借	40,000

V 受取手形記入帳と支払手形記入帳

手形債権の記録を受取手形勘定という単一勘定で処理すると、手形債権の明細を把握することはできない。そこで、この欠点を補うために、主要簿（仕訳帳及び総勘定元帳）の他に補助簿を設定し、手形債権の明細を把握する場合がある。この補助簿を受取手形記入帳という。

なお、手形債務も同様の理由から、支払手形記入帳を設定する場合がある。

受取手形記入帳

(単位：円)

日付	種類	番号	摘要	支払人	振出人・ 裏書人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
4	1	約 19	売 上	A株式会社	A株式会社	4	1	5	10	甲銀行	80,000	5	10	取 立
		15 為	売掛金	C株式会社	B株式会社	4	15	5	25	乙銀行	70,000	5	15	譲 渡
		20 約	売 上	E株式会社	D株式会社	3	26	5	30	丙銀行	60,000			

支払手形記入帳

(単位：円)

日付	種類	番号	摘要	受取人	振出人	振出日		満期日		支払場所	手形金額	てん末		
						月	日	月	日			月	日	摘要
4	2	約 10	仕 入	F株式会社	当 社	4	2	5	21	甲銀行	50,000	5	21	支 払
		16 為	買掛金	H株式会社	G株式会社	4	16	6	4	乙銀行	40,000			

学習にあたっての注意事項

(1) 税理士試験では、黒色または青色のボールペンまたは万年筆で解答しなければいけません。間違えた場合には、修正液や修正テープの使用は認められますが、消せるボールペンの使用は認められませんので、修正液や修正テープを用いない場合には次に示すとおりに訂正してください。

- ① 金額を間違えた場合…間違えた金額の全てに二重線を引いて訂正します。

(正) 160,000

(誤) ~~100,000~~

- ② 文字を間違えた場合…間違えた文字のみに二重線を引いて訂正します。

(正) 減

(誤) ~~原~~価償却

(2) 金額を示すときには、読みやすくするため、必ず3桁ごとにカンマを付すようにしましょう。なお、本試験ではカンマがない場合、不正解となることがあります。

1,000,000,000
↑ ↑ ↑ ↑
十億 百万 千 円

よく使用される略号等

- (1) B/S……貸借対照表 (Balance Sheetの略)
- (2) P/L……損益計算書 (Profit and Loss Statementの略)
- (3) C/F……キャッシュ・フロー計算書 (Cash Flow Statementの略)
- (4) S/S……株主資本等変動計算書 (Statements of Shareholders' Equityの略)
- (5) C/R……製造原価報告書 (Cost Reportの略)
- (6) F/S……財務諸表 (Financial Statementsの略)
- (7) T/B……試算表 (Trial Balanceの略)
- (8) W/S……精算表 (Working Sheetの略)
- (9) a/c……勘定 (accountの略)
- (10) //………同上の意味。原則的に日付に使用する (勘定科目と金額には使用不可)。
- (11) ✓………チェック・マーク。転記済、照合済、引合済を意味する。
- (12) 借………借方のこと。
- (13) 貸………貸方のこと。
- (14) 丁数………ちょうすう。ページ数のこと。
- (15) 元丁………元帳丁数のこと。
- (16) 仕丁………仕訳帳丁数のこと。
- (17) @………単価 (atの略)
- (18) D r ……借方 (Debtorの略)
- (19) C r ……貸方 (Creditorの略)

< ㄨ ㄜ >

テキスト

<今回の学習内容>

第1回講義 使用ページ
P 1 ~20

テーマ 1


簿記一巡の手続

重要度 ★★★

簿記とは、企業が(1)一事業年度においてどれだけ儲かったか（損益計算）及び(2)決算時点における財産の有高はいくらか（財産管理）を明らかにする目的で、企業の営業活動による財産の増減変化を帳簿に記入することをいう。

具体的には、取引について仕訳帳で仕訳を行い、総勘定元帳の各勘定へ転記し、期末に決算を行って帳簿を締め切り、財務諸表を作成するという一連の行為を、每期、繰り返して行うことである。この一連の手続を「簿記一巡の手続」という。

なお、簿記一巡の手続には、原則法である「大陸式簿記法」と簡便法である「英米式簿記法」の2つの方法がある。


 このテーマの学習内容

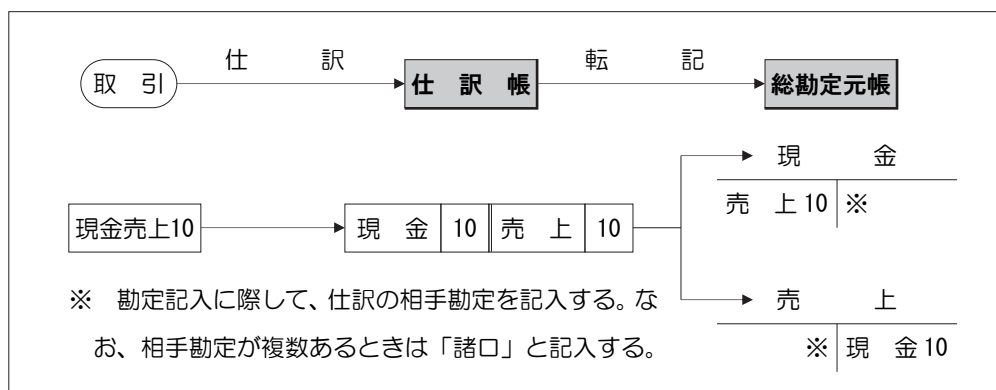
テーマNo.	学 習 内 容	基礎マスター	速修
1-1	簿記一巡の手続（その1）	No.1 第1回	No.1 第1回
1-2	簿記一巡の手続（その2）	No.1 第1回	No.1 第1回

（注）本テキストでは、日商簿記3級で学習済みの内容には「◎」を、一部学習済みの内容には「○」を付している。

1-1 簿記一巡の手続（その1）

① 仕訳と転記（◎）

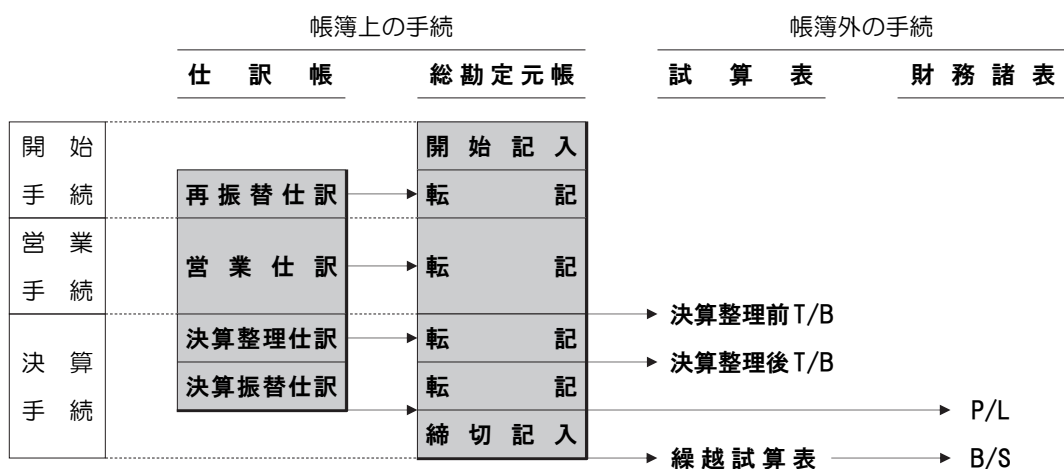
簿記の目的は、すべての取引を借方要素と貸方要素に分解して勘定に記録し、最終的に企業の財政状態と経営成績を明らかにすることにある。ただし、取引を勘定に直接記録しようとすると記録ミスが生じやすいため、勘定に記録する前に、取引を(1)記録すべき勘定科目、(2)借方・貸方の別及び(3)金額に分解し（これを「仕訳」という。）、その結果を勘定に記録することとなる（これを「転記」という。）。なお、仕訳を行う帳簿を「仕訳帳」といい、すべての勘定が設けられている帳簿を「総勘定元帳」という。



② 英米式簿記法と大陸式簿記法

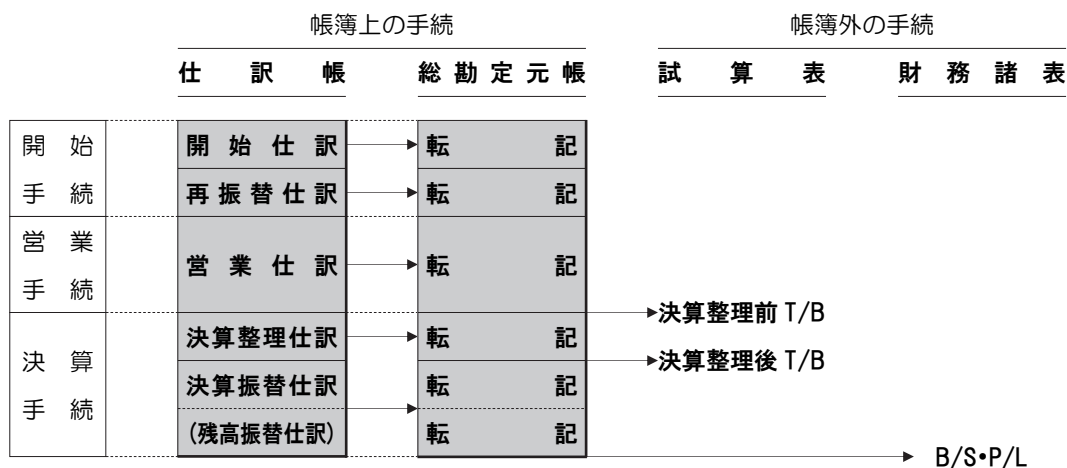
(1) 英米式簿記法 (◎)

英米式簿記法とは、期首及び期末の記帳手続を簡便にした簿記法をいう。英米式簿記法では、期首及び期末の資産・負債・純資産（資本）の残高について、仕訳帳における仕訳を省略して総勘定元帳へ直接「開始記入（前期繰越）」及び「締切記入（次期繰越）」を行う。また、締切記入が正しく行われたかどうかを検証するため、資産・負債・純資産（資本）の次期繰越高を集めて繰越試算表を作成し、これに基づいて貸借対照表を作成する。



(2) 大陸式簿記法

大陸式簿記法とは、記帳原則に忠実な簿記法であり、総勘定元帳への記録をすべて仕訳帳における仕訳を転記することにより行う。



1-2 簿記一巡の手続（その2）

① 開始手続

開始手続とは、期首において営業手続に先立って行われる手続である。

1 英米式簿記法（◎）

英米式簿記法では「開始記入」及び「※再振替仕訳・転記」からなる。

2 大陸式簿記法

大陸式簿記法では「開始仕訳・転記」及び「※再振替仕訳・転記」からなる。

※ 期首における経過勘定を費用勘定及び収益勘定に振り戻す手続である。

<経過勘定>

前払費用 ⇒ 資産勘定	前受収益 ⇒ 負債勘定
未収収益 ⇒ 資産勘定	未払費用 ⇒ 負債勘定

② 営業手続（◎）

営業手続とは、期中において営業取引を記帳する手続であり、営業取引を仕訳帳に仕訳して総勘定元帳へ転記するという一連の手続の繰り返しである。

③ 決算手続

決算手続とは、期末において当期純利益及び財産有高を算定する手続である。

1 決算整理前試算表（◎）

簿記では、仕訳帳から総勘定元帳への転記が正しく行われたか否かを検証するため、一定時点において総勘定元帳に設けられているすべての勘定の金額を集計して一覧表を作成する。この一覧表を「試算表」という。

決算にあたっては、営業手続までの記帳内容について、仕訳帳から総勘定元帳への転記が正しく行えたか否かを検証するため、「決算整理前試算表」を作成する。

2 決算整理（○）

総勘定元帳の記録が正しいものであっても、期末における各勘定残高が、そのまま当期における損益の発生額や、期末における財産有高を示しているとは限らない。そこで、決算において当期における損益の発生額及び期末における財産有高を確定するため、総勘定元帳の記録を修正する手続を行う。これを「決算整理」という。決算整理には、次に示すものがある。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 売上原価の算定 | (5) 固定資産の減価償却 |
| (2) 棚卸資産の評価 | (6) 有価証券の評価 |
| (3) 費用・収益の見越・繰延 | (7) 法人税等の計上 |
| (4) 貸倒引当金の設定 | |

3 決算整理後試算表（◎）

決算整理について、仕訳帳から総勘定元帳への転記が正しく行えたか否かを検証するため、決算整理後における各勘定の金額を集計して試算表を作成する。この試算表を「決算整理後試算表」という。

4 決算振替と勘定の締切

(1) 英米式簿記法（◎）

① 収益及び費用の損益勘定への振替

決算整理後における収益及び費用の各勘定残高を**損益勘定**に振り替え、当期純利益を算定する。なお、損益勘定は当期純利益の計算要素を一覧する機能を有するため、相手勘定が複数ある場合でも摘要欄に「諸口」とは記入せず、すべての相手勘定を記入することとなる。

また、この振替処理により、収益及び費用の各勘定残高がゼロとなるため、勘定の締切を行う。

② 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

損益勘定の残高（当期純利益）を繰越利益剰余金勘定（個人企業の場合は資本金勘定）へ振り替える。なお、繰越利益剰余金は、後に株主配当金などとして処分される。

また、この振替処理により、損益勘定の残高がゼロとなるため、勘定の締切を行い、これに基づいて損益計算書を作成する。

③ 資産、負債及び純資産の勘定の締切

資産、負債及び純資産（資本）の各勘定残高の締め切りを行い、次期繰越と記入する。また、締切記入が正しく行われたかどうかを検証するため、資産・負債・純資産（資本）の次期繰越高を集めて繰越試算表を作成し、これに基づいて貸借対照表を作成する。

(2) 大陸式簿記法

① 収益及び費用の損益勘定への振替

⇒ **英米式簿記法と同じ**

② 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

⇒ **英米式簿記法と同じ**

③ 資産、負債及び純資産（資本）の残高勘定への振替

資産、負債及び純資産（資本）の各勘定残高を**残高勘定**に振り替え、期末財産有高が貸借平均することを確認する。

なお、残高勘定は期末財産有高を一覧する機能を有するため、相手勘定が複数ある場合でも摘要欄に「諸口」とは記入せず、すべての相手勘定を記入することとなる。

また、この振替処理により、資産、負債及び純資産（資本）の各勘定残高がゼロとなるため、勘定の締切を行う。

設 例

当期は x 1 年 4 月 1 日から x 2 年 3 月 31 日である。

1 期首における前期繰越高の内容は、次に示すとおりである。

- (1) 資産勘定：現金 4,500円、繰越商品 500円
- (2) 負債勘定：未払賃借料 100円
- (3) 純資産勘定：資本金 3,500円、繰越利益剰余金 1,400円

2 期中における営業取引は、次に示すとおりである。

- (1) 商品4,000円を現金で仕入れた。
- (2) 商品6,000円（売価）を現金で売り上げた。
- (3) 賃借料1,750円を現金で支払った。

3 期末における決算整理事項は、次に示すとおりである。

- (1) 期末商品棚卸高 600円
- (2) 未払賃借料 150円

<ケース1> 英米式簿記法で記帳手続を行った場合

<ケース2> 大陸式簿記法で記帳手続を行った場合

<メ モ>



解説 (単位: 円)

<ケース1> 英米式簿記法で記帳手続を行った場合

I 期首の開始手続

1 開始記入

(1) 仕訳帳

仕 訳 な し			
---------	--	--	--

(2) 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 前期繰越 4,500			4/1 前期繰越 100
繰越商品		資 本 金	
4/1 前期繰越 500			4/1 前期繰越 3,500
		繰越利益剰余金	
			4/1 前期繰越 1,400

2 再振替仕訳・転記

(1) 仕訳帳

未 払 賃 借 料	100	支 払 賃 借 料	100
-----------	-----	-----------	-----

(2) 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 前期繰越 4,500		4/1 支払賃借料 100	4/1 前期繰越 100
繰越商品		資 本 金	
4/1 前期繰越 500			4/1 前期繰越 3,500
支払賃借料		繰越利益剰余金	
	4/1 未払賃借料 100		4/1 前期繰越 1,400

<ケース2> 大陸式簿記法で記帳手続を行った場合

I 期首の開始手続

1 開始仕訳・転記

(1) 仕訳帳

現 金	4,500	未 払 賃 借 料	100
繰 越 商 品	500	資 本 金	3,500
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,400

(2) 総勘定元帳

現 金	未払賃借料
4/1 諸 口 ※ 4,500	4/1 諸 口 ※ 100
繰 越 商 品	資 本 金
4/1 諸 口 ※ 500	4/1 諸 口 ※ 3,500
	繰越利益剰余金
	4/1 諸 口 ※ 1,400

※ 例外的に「前期繰越」と記入することもできる。

2 再振替仕訳・転記

(1) 仕訳帳

未 払 賃 借 料	100	支 払 賃 借 料	100
-----------	-----	-----------	-----

(2) 総勘定元帳

現 金	未払賃借料
4/1 諸 口 4,500	4/1 支払賃借料 100 4/1 諸 口 100
繰 越 商 品	資 本 金
4/1 諸 口 500	4/1 諸 口 3,500
支 払 賃 借 料	繰越利益剰余金
4/1 未払賃借料 100	4/1 諸 口 1,400

<ケース1> 英米式簿記法で記帳手続を行った場合

Ⅱ 期中の営業手続（営業取引については、日付の代わりに取引番号を記載している。）

1 仕訳帳

(1)	仕	入	4,000	現	金	4,000
(2)	現	金	6,000	売	上	6,000
(3)	支	払	賃	借	料	1,750
				現	金	1,750

2 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 前期繰越 4,500	(1) 仕 入 4,000	4/1 支払賃借料 100	4/1 前期繰越 100
(2) 売 上 6,000	(3) 支払賃借料 1,750		
繰越商品		資本金	
4/1 前期繰越 500			4/1 前期繰越 3,500
支払賃借料		繰越利益剰余金	
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100		4/1 前期繰越 1,400
仕 入		売 上	
(1) 現 金 4,000			(2) 現 金 6,000

＜ケース２＞ 大陸式簿記法で記帳手続を行った場合

Ⅱ 期中の営業手続（営業取引については、日付の代わりに取引番号を記載している。）

1 仕訳帳

(1)	仕 入	4,000	現 金	4,000
(2)	現 金	6,000	売 上	6,000
(3)	支 払 賃 借 料	1,750	現 金	1,750

2 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 諸 口 4,500	(1) 仕 入 4,000	4/1 支払賃借料 100	4/1 諸 口 100
(2) 売 上 6,000	(3) 支払賃借料 1,750		
繰越商品		資 本 金	
4/1 諸 口 500			4/1 諸 口 3,500
支払賃借料		繰越利益剰余金	
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100		4/1 諸 口 1,400
仕 入		売 上	
(1) 現 金 4,000			(2) 現 金 6,000

<ケース1> 英米式簿記法で記帳手続を行った場合

Ⅲ 期末の決算手続

1 決算整理前試算表（帳簿外）

決算整理前試算表

現 金	4,750	資 本 金	3,500
繰 越 商 品	500	繰 越 利 益 剰 余 金	1,400
仕 入	4,000	売 上	6,000
支 払 賃 借 料	1,650		
	<u>10,900</u>		<u>10,900</u>

2 決算整理

(1) 仕訳帳

① 売上原価の算定

仕 入	500	繰 越 商 品	500
繰 越 商 品	600	仕 入	600

② 費用の見越

支 払 賃 借 料	150	未 払 賃 借 料	150
-----------	-----	-----------	-----

(2) 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 前期繰越 4,500	(1) 仕 入 4,000	4/1 支払賃借料 100	4/1 前期繰越 100
(2) 売 上 6,000	(3) 支払賃借料 1,750		3/31 支払賃借料 150
繰越商品		資 本 金	
4/1 前期繰越 500	3/31 仕 入 500		4/1 前期繰越 3,500
3/31 仕 入 600			
支払賃借料		繰越利益剰余金	
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100		4/1 前期繰越 1,400
3/31 未払賃借料 150			
仕 入		売 上	
(1) 現 金 4,000	3/31 繰越商品 600		(2) 現 金 6,000
3/31 繰越商品 500			

3 決算整理後試算表（帳簿外）

決算整理後試算表

現 金	4,750	未 払 賃 借 料	150
繰 越 商 品	600	資 本 金	3,500
仕 入	3,900	繰 越 利 益 剰 余 金	1,400
支 払 賃 借 料	1,800	売 上	6,000
	<u>11,050</u>		<u>11,050</u>

<ケース2> 大陸式簿記法で記帳手続を行った場合

Ⅲ 期末の決算手続

1 決算整理前試算表（帳簿外）

決算整理前試算表

現 金	4,750	資 本 金	3,500
繰 越 商 品	500	繰 越 利 益 剰 余 金	1,400
仕 入	4,000	売 上	6,000
支 払 賃 借 料	1,650		
	<u>10,900</u>		<u>10,900</u>

2 決算整理

(1) 仕訳帳

① 売上原価の算定

仕 入	500	繰 越 商 品	500
繰 越 商 品	600	仕 入	600

② 費用の見越

支 払 賃 借 料	150	未 払 賃 借 料	150
-----------	-----	-----------	-----

(2) 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 諸 口 4,500	(1) 仕 入 4,000	4/1 支払賃借料 100	4/1 諸 口 100
(2) 売 上 6,000	(3) 支払賃借料 1,750		3/31 支払賃借料 150
繰越商品		資 本 金	
4/1 諸 口 500	3/31 仕 入 500		4/1 諸 口 3,500
3/31 仕 入 600			
支払賃借料		繰越利益剰余金	
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100		4/1 諸 口 1,400
3/31 未払賃借料 150			
仕 入		売 上	
(1) 現 金 4,000	3/31 繰越商品 600		(2) 現 金 6,000
3/31 繰越商品 500			

3 決算整理後試算表（帳簿外）

決算整理後試算表

現 金	4,750	未 払 賃 借 料	150
繰 越 商 品	600	資 本 金	3,500
仕 入	3,900	繰 越 利 益 剰 余 金	1,400
支 払 賃 借 料	1,800	売 上	6,000
	<u>11,050</u>		<u>11,050</u>

＜ケース1＞ 英米式簿記法で記帳を行った場合

4 決算振替

(1) 収益及び費用の損益勘定への振替

① 仕訳帳

売	上	6,000	損	益	6,000
損	益	5,700	仕	入	3,900
			支	払	賃
			借	料	1,800

② 総勘定元帳

支払賃借料			売 上		
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100	3/31 損 益 6,000	(2) 現 金 6,000		
3/31 未払賃借料 150	3/31 損 益 1,800				
<u>1,900</u>	<u>1,900</u>				
仕 入			損 益		
(1) 現 金 4,000	3/31 繰越商品 600	3/31 仕 入 3,900	3/31 売 上 6,000		
3/31 繰越商品 500	" 損 益 3,900	" 支払賃借料 1,800			
<u>4,500</u>	<u>4,500</u>				

(2) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

① 仕訳帳

損	益	300	繰越利益剰余金	300
---	---	-----	---------	-----

② 総勘定元帳

繰越利益剰余金		損 益	
4/1 前期繰越 1,400	3/31 仕 入 3,900	3/31 売 上 6,000	
3/31 損 益 300	" 支払賃借料 1,800		
	" 繰越利益剰余金 300		
	<u>6,000</u>		<u>6,000</u>



損益計算書の作成へ

<ケース2> 大陸式簿記法で記帳を行った場合

4 決算振替

(1) 収益及び費用の損益勘定への振替

① 仕訳帳

売	上	6,000	損	益	6,000
損	益	5,700	仕	入	3,900
			支	払	賃
			借	料	1,800

② 総勘定元帳

支払賃借料		売 上	
(3) 現 金 1,750	4/1 未払賃借料 100	3/31 損 益 <u>6,000</u>	(2) 現 金 <u>6,000</u>
3/31 未払賃借料 150	3/31 損 益 <u>1,800</u>		
<u>1,900</u>	<u>1,900</u>		
仕 入		損 益	
(1) 現 金 4,000	3/31 繰越商品 600	3/31 仕 入 <u>3,900</u>	3/31 売 上 <u>6,000</u>
3/31 繰越商品 500	" 損 益 <u>3,900</u>	" 支払賃借料 <u>1,800</u>	
<u>4,500</u>	<u>4,500</u>		

(2) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

① 仕訳帳

損	益	300	繰越利益剰余金	300
---	---	-----	---------	-----

② 総勘定元帳

繰越利益剰余金		損 益	
	4/1 諸 口 1,400	3/31 仕 入 3,900	3/31 売 上 6,000
	3/31 損 益 <u>300</u>	" 支払賃借料 1,800	
		" 繰越利益剰余金 <u>300</u>	
		<u>6,000</u>	<u>6,000</u>



損益計算書の作成へ

<ケース1> 英米式簿記法で記帳手続を行った場合

5 資産、負債及び純資産の勘定の締切

(1) 仕訳帳

仕 訳 な し			
---------	--	--	--

(2) 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 前期繰越 4,500	(1) 仕 入 4,000	4/1 支払賃借料 100	4/1 前期繰越 100
(2) 売 上 6,000	(3) 支払賃借料 1,750	3/31 次期繰越 150	3/31 支払賃借料 150
	3/31 次期繰越 4,750	250	250
<u>10,500</u>	<u>10,500</u>		

繰越商品		資本金	
4/1 前期繰越 500	3/31 仕 入 500	3/31 次期繰越 3,500	4/1 前期繰越 3,500
3/31 仕 入 600	" 次期繰越 600		
<u>1,100</u>	<u>1,100</u>		

繰越利益剰余金	
3/31 次期繰越 1,700	4/1 前期繰越 1,400
	3/31 損 益 300
<u>1,700</u>	<u>1,700</u>

6 繰越試算表（帳簿外）

繰越試算表			
現 金	4,750	未 払 賃 借 料	150
繰 越 商 品	600	資 本 金	3,500
		繰 越 利 益 剰 余 金	1,700
	<u>5,350</u>		<u>5,350</u>



貸借対照表の作成へ

＜ケース2＞ 大陸式簿記法で記帳手続を行った場合

(3) 資産、負債及び純資産の残高勘定への振替

① 仕訳帳

残	高	5,350	現	金	4,750
-----			-----		
			繰	越	商
			品		600
-----			-----		
未	払	賃	借	料	150
-----			残	高	5,350
資	本	金	-----		
		3,500	-----		
-----			-----		
繰	越	利	益	剰	余
金		1,700	-----		
-----			-----		

② 総勘定元帳

現 金		未払賃借料	
4/1 諸	口 4,500	(1) 仕	入 4,000
(2) 売	上 6,000	(3) 支	払 賃借料 1,750
		3/31 残	高 ※ 4,750
	<u>10,500</u>		<u>10,500</u>

繰越商品		資 本 金	
4/1 諸	口 500	3/31 仕	入 500
3/31 仕	入 600	3/31 残	高 ※ 3,500
	<u>1,100</u>		<u>3,500</u>
		" 残	高 ※ 600
			<u>600</u>

繰越利益剰余金	
3/31 残	高 ※ 1,700
4/1 諸	口 1,400
3/31 損	益 300
	<u>1,700</u>
	<u>1,700</u>

※ 例外的に「次期繰越」と記入することもできる。

残 高	
3/31 現	金 4,750
" 繰	越 商 品 600
	<u>5,350</u>
3/31 未	払 賃借料 150
" 資	本 金 3,500
" 繰	越 利 益 剰 余 金 1,700
	<u>5,350</u>



貸借対照表の作成へ



参 考 費用・収益の見越・繰延 (◎)

1 費用の繰延

当期に計上した費用勘定の金額に、翌期以降分が含まれる場合、当該金額は決算整理において費用勘定から控除し、**前払費用勘定**（資産勘定）により翌期以降への繰延処理を行う。

なお、前払費用勘定については、翌期首において費用勘定への振戻処理（再振替仕訳）を行う。

(1) 支払時（年額1,200円を前払い）

(借) 費用勘定	1,200	(貸) 現金	1,200
----------	-------	--------	-------

(2) 決算時（当期分9カ月、翌期分3カ月）

(借) 前払費用	300	(貸) 費用勘定	300
----------	-----	----------	-----

(3) 翌期首（再振替仕訳）

(借) 費用勘定	300	(貸) 前払費用	300
----------	-----	----------	-----

2 収益の繰延

当期に計上した収益勘定の金額に、翌期以降分が含まれる場合、当該金額は決算整理において収益勘定から控除し、**前受収益勘定**（負債勘定）により翌期以降への繰延処理を行う。

なお、前受収益勘定については、翌期首において収益勘定への振戻処理（再振替仕訳）を行う。

(1) 受取時（年額1,200円を前受け）

(借) 現金	1,200	(貸) 収益勘定	1,200
--------	-------	----------	-------

(2) 決算時（当期分9カ月、翌期分3カ月）

(借) 収益勘定	300	(貸) 前受収益	300
----------	-----	----------	-----

(3) 翌期首（再振替仕訳）

(借) 前受収益	300	(貸) 収益勘定	300
----------	-----	----------	-----

3 費用の見越

翌期に計上する費用勘定の金額に、当期分が含まれる場合、当該金額は決算整理において当期の費用勘定に計上し、**未払費用勘定**（負債勘定）により見越処理を行う。

なお、未払費用勘定については、翌期首において費用勘定への振戻処理（再振替仕訳）を行う。

(1) 契約時（後払い）

仕 訳 な し

(2) 決算時（当期分9カ月、翌期分3カ月）

(借) 費 用 勘 定	900	(貸) 未 払 費 用	900
-------------	-----	-------------	-----

(3) 翌期首（再振替仕訳）

(借) 未 払 費 用	900	(貸) 費 用 勘 定	900
-------------	-----	-------------	-----

(4) 支払時（年額1,200円）

(借) 費 用 勘 定	1,200	(貸) 現 金	1,200
-------------	-------	---------	-------

4 収益の見越

翌期に計上する収益勘定の金額に、当期分が含まれる場合、当該金額は決算整理において当期の収益勘定に計上し、**未収収益勘定**（資産勘定）により見越処理を行う。

なお、未収収益勘定については、翌期首において収益勘定への振戻処理（再振替仕訳）を行う。

(1) 契約時（後受け）

仕 訳 な し

(2) 決算時（当期分9カ月、翌期分3カ月）

(借) 未 収 収 益	900	(貸) 収 益 勘 定	900
-------------	-----	-------------	-----

(3) 翌期首（再振替仕訳）

(借) 収 益 勘 定	900	(貸) 未 収 収 益	900
-------------	-----	-------------	-----

(4) 受取時（年額1,200円）

(借) 現 金	1,200	(貸) 収 益 勘 定	1,200
---------	-------	-------------	-------

参考 試算表の種類 (◎)

試算表には、(1)残高試算表、(2)合計試算表及び(3)合計残高試算表の3つのタイプがあり、それぞれ目的に応じて作成される。前設例に基づいて各試算表を比較すると次のとおりとなる。

(1) 残高試算表 (勘定残高の一覧表)

決算整理前残高試算表 (単位：円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
4,750	現金	
500	繰越商品	
	———	
	資本金	3,500
	繰越利益剰余金	1,400
	売上	6,000
4,000	仕入	
1,650	支払賃借料	
10,900	合計	10,900

(2) 合計試算表 (勘定合計の一覧表)

決算整理前合計試算表 (単位：円)

借方合計	勘定科目	貸方合計
10,500	現金	5,750
500	繰越商品	
100	未払賃借料	100
	資本金	3,500
	繰越利益剰余金	1,400
	売上	6,000
4,000	仕入	
1,750	支払賃借料	100
16,850	合計	16,850

(3) 合計残高試算表 (勘定合計及び勘定残高の一覧表)

決算整理前合計残高試算表 (単位：円)

借方残高	借方合計	勘定科目	貸方合計	貸方残高
4,750	10,500	現金	5,750	
500	500	繰越商品		
———	100	未払賃借料	100	———
		資本金	3,500	3,500
		繰越利益剰余金	1,400	1,400
		売上	6,000	6,000
4,000	4,000	仕入		
1,650	1,750	支払賃借料	100	
10,900	16,850	合計	16,850	10,900

トレーニング

<今回の学習内容>

第1回講義 使用ページ
問題1～7

問題編

問題 1 簿記一巡の手続(1) (シートあり)

基礎

<解答P1>

- 10分 -

当社は大陸式簿記法を採用している。当期に関する下記の【資料】に基づいて、次の各問に答えなさい。

- 問1 開始仕訳を示しなさい（開始残高勘定は使用しない）。
 問2 再振替仕訳を示しなさい。
 問3 営業仕訳を示しなさい。
 問4 決算整理前残高試算表を作成しなさい。
 問5 決算整理仕訳を示しなさい。
 問6 決算整理後残高試算表を作成しなさい。

【資料1】前期末（x1年3月31日）における残高勘定は、次のとおりである。

		残 高		(単位：千円)	
現 金	16,200	未 払 営 業 費	360		
繰 越 商 品	1,800	資 本 金	17,640		

【資料2】当期中（x1年4月1日～x2年3月31日）における営業取引は、次のとおりである。

- (1) 商品14,400千円を現金で仕入れた。
- (2) 商品21,600千円（売価）を現金で売上げた。
- (3) 営業費6,300千円を現金で支払った。

【資料3】決算整理事項は、次のとおりである。

- (1) 期末商品棚卸高 2,160千円
- (2) 未払営業費 540千円

問題2 簿記一巡の手続(2) (シートあり)

<解答P2>

応用

— 30分 —

当社は大陸式簿記法を採用しているが、当期に関する下記の【資料】に基づいて、仕訳、勘定への転記及び試算表を示しなさい。なお、解答する際には、簿記一巡の手続に従い、仕訳の都度転記を行い、総勘定元帳を元に各時点の試算表を作成しなさい。また、営業取引の転記にあたっては、日付の代わりに取引番号を用いること。

【資料1】 期首 (x 1年4月1日) における勘定残高

現金 27,500千円、売掛金 10,000千円、繰越商品 2,500千円、貸付金 6,000千円、
前払営業費 180千円、未収利息 20千円、建物 7,900千円、買掛金 9,000千円、
未払営業費 100千円、資本金 45,000千円

【資料2】 期中 (x 1年4月1日～x 2年3月31日) における営業取引

- (1) 掛仕入 30,000千円
- (2) 現金仕入 10,000千円
- (3) 掛売上 42,000千円
- (4) 現金売上 25,500千円
- (5) 現金による営業費支払 18,600千円
- (6) 現金による売掛金回収 38,000千円
- (7) 現金による買掛金決済 31,000千円
- (8) 現金による利息の受取 240千円

【資料3】 決算整理事項 (x 2年3月31日)

- (1) 期末商品棚卸高 2,800千円
- (2) 未払営業費 150千円
前払営業費 120千円
- (3) 未収利息 20千円
- (4) 建物の減価償却費 1,080千円

なお、減価償却は直接控除法により記帳する。

問題3 簿記一巡の手続(3) (シートあり)**基礎**

<解答P5>

- 20分 -

当社の当期（4月1日から3月31日）に関する下記の【資料】に基づいて次の問に答えなさい。

問1 決算整理前残高試算表を示しなさい。

問2 決算振替仕訳を行いなさい。

問3 損益勘定及び残高勘定を示しなさい。

【資料1】 期首の勘定残高

- (1) 資産勘定：現金 1,540千円、売掛金 2,000千円、繰越商品 500千円、前払営業費 40千円
- (2) 負債勘定：買掛金 1,980千円、未払営業費 100千円
- (3) 純資産勘定：資本金 2,000千円

【資料2】 営業取引

- (1) 5月5日 商品6,000千円を掛で仕入れた。
- (2) 7月7日 商品8,000千円（売価）を掛で売上げた。
- (3) 8月8日 売掛金7,700千円を現金で回収した。
- (4) 10月10日 買掛金5,800千円を現金で支払った。
- (5) 12月12日 営業費1,750千円を現金で支払った。

【資料3】 決算整理事項

- (1) 期末商品棚卸高 600千円
- (2) 前払営業費 50千円、未払営業費 160千円

問題4 英米式簿記法（シートあり）

<解答P10>

基礎

— 10分 —

下記の【資料】により、次の間に答えなさい。なお、当期はx1年4月1日からx2年3月31日までである。

問1 決算振替仕訳を行い、各勘定の締切りを行いなさい。

問2 当期末の繰越試算表を作成しなさい。

【資料】決算整理後（x2年3月31日）における総勘定元帳（単位：円）

現 金		未 払 営 業 費	
4/1 前期繰越	9,000	4/1 営業費	200
(2) 売 上	12,000	4/1 前期繰越	200
(1) 仕 入	8,000	3/31 営業費	300
(3) 営業費	3,500		

繰 越 商 品		資 本 金	
4/1 前期繰越	1,000	4/1 前期繰越	9,800
3/31 仕 入	1,200	3/31 仕 入	1,000

仕 入		売 上	
(1) 現 金	8,000	(2) 現 金	12,000
3/31 繰越商品	1,000	3/31 繰越商品	1,200

営 業 費		未 払 営 業 費	
(3) 現 金	3,500	4/1 未払営業費	200
3/31 未払営業費	300		

問題5

費用・収益の見越・繰延(1)

基礎
<解答P11>
- 5分 -

A社の当期末決算整理前における残高試算表は次のとおりである。よって、次の決算整理事項により、(1)当期末における決算整理仕訳を示すとともに、(2)決算整理後残高試算表を作成しなさい。

【資料1】

決算整理前残高試算表		(単位：円)	
支 払 地 代	38,500	受 取 手 数 料	46,100
支 払 利 息	27,000	受 取 利 息	15,600

【資料2】決算整理事項

- (1) 支払地代の見越高 3,500円
- (2) 支払利息の繰延高 1,700円
- (3) 受取手数料の繰延高 4,200円
- (4) 受取利息の見越高 3,100円

(留意事項) 経過勘定は以下の科目を用いること。

前払利息 未払地代 未収利息 前受手数料

【解答欄】

- (1) 当期末における決算整理仕訳 (単位：円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

- (2) 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表		(単位：円)	
支 払 地 代	()	受 取 手 数 料	()
支 払 利 息	()	受 取 利 息	()
()	()	()	()
()	()	()	()

問題 6 費用・収益の見越・繰延(2)

<解答P12>

基礎

- 3分 -

B社の当期（4月1日から3月31日）の下記【資料1】及び【資料2】に基づいて決算整理後残高試算表を作成しなさい。なお、計算は月割りによること。

【資料1】

決算整理前残高試算表		(単位：円)	
支 払 保 険 料	6,000	借 入 金	100,000
支 払 利 息	□		

【資料2】決算整理事項

- (1) 借入金100,000円は、全額当期の9月1日に借入れたものであり、利率は年3%、利息は2月末日を初回として6か月ごとに後払いする契約である。
- (2) 支払保険料6,000円は、当期の7月1日から1年分の保険料である。

【解答欄】

決算整理後残高試算表		(単位：円)	
() 保 険 料	()	借 入 金	100,000
支 払 保 険 料	()	() 利 息	()
支 払 利 息	()		

問題7 費用・収益の見越・繰延(3)

<解答P14>

応用

5分

D社の当期（x2年4月1日からx3年3月31日）の下記【資料1】及び【資料2】に基づいて決算整理後残高試算表の記入及び支払保険料勘定を作成しなさい。なお、按分計算は月割計算により行うこと。

【資料1】

決算整理前残高試算表		(単位：円)
支 払 保 険 料	1,000	

【資料2】決算整理事項

支払保険料はすべて建物に対するものであり、D社は每期12月1日に1年分の保険料を前払いしている。なお、保険料の支払額は前期も当期も同額である。

【解答欄】

決算整理後残高試算表		(単位：円)
() 保 険 料	()	
支 払 保 険 料	()	

支払保険料				(単位：円)
4/1	()	()	3/31	()
12/1	現 金 預 金	()	" 損	益 ()
		()		()

確認 1 (シートあり)

<解答P16>

確認

- 20分 -

甲株式会社の当期（x 2年4月1日からx 3年3月31日まで）に関する下記の資料に基づいて、次の各問に答えなさい。

- 問1 開始仕訳を示しなさい。
 問2 再振替仕訳を示しなさい。
 問3 営業仕訳を示しなさい。
 問4 決算整理前残高試算表の①～④に入る金額を示しなさい。
 問5 決算整理仕訳を示しなさい。
 問6 決算整理後残高試算表の①～④に入る金額を示しなさい。
 問7 (1) 収益の損益勘定への決算振替仕訳を示しなさい。
 (2) 費用の損益勘定への決算振替仕訳を示しなさい。
 (3) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への決算振替仕訳を示しなさい。
 問8 (1) 資産の残高勘定への決算振替仕訳を示しなさい。
 (2) 負債及び純資産の残高勘定への決算振替仕訳を示しなさい。

【資料1】 前期末の状況

1 前期末の残高勘定

		残 高		(単位：千円)
現 金	9,500	未 払 費 用	100	
繰 越 商 品	2,500	借 入 金	5,000	
		資 本 金	6,000	
		繰 越 利 益 剰 余 金	900	
	<u>12,000</u>		<u>12,000</u>	

2 残高勘定に計上されている借入金は、すべてx 1年8月1日に下記の条件により銀行から借入れたものである。

- (1) 借入金額：5,000千円
 (2) 返済日：x 3年7月31日
 (3) 利子率：年3%
 (4) 利払日：毎年7月31日（後払い）

【資料2】 営業取引（要約）

- 1 商品32,000千円を現金で仕入れた。
- 2 商品40,000千円（売価）を現金で売上げた。
- 3 営業費5,800千円を現金で支払った。
- 4 支払利息（各自算定）千円を現金で支払った。

【資料3】 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：千円)		
現	金	①	借	入	金	5,000
繰	越	2,500	資	本	金	6,000
仕	入	()	繰	越	利	900
営	業	②	売		上	④
支	払	③				
		()				()

【資料4】 決算整理事項

- 1 期末商品棚卸高 3,000千円
- 2 支払利息の見越（各自算定）千円

【資料5】 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表				(単位：千円)		
現	金	()	未	払	費	④
繰	越	①	借	入	金	5,000
仕	入	②	資	本	金	6,000
営	業	()	繰	越	利	900
支	払	③	売		上	()
		()				()

解答編

問題 1 簿記一巡の手続(1)

【解答】

問 1 (単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	16,200	未払営業費	360
繰越商品	1,800	資本金	17,640

問 2 (単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
未払営業費	360	営業費	360

問 3 (単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕入	14,400	現金	14,400
(2)	現金	21,600	売上	21,600
(3)	営業費	6,300	現金	6,300

問 4

決算整理前残高試算表 (単位：千円)

現金	(17,100)	資本金	(17,640)
繰越商品	(1,800)	売上	(21,600)
仕入	(14,400)		
営業費	(5,940)		
	(39,240)		(39,240)

問 5 (単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕入	1,800	繰越商品	1,800
	繰越商品	2,160	仕入	2,160
(2)	営業費	540	未払営業費	540

問 6

決算整理後残高試算表 (単位：千円)

現金	(17,100)	未払営業費	(540)
繰越商品	(2,160)	資本金	(17,640)
仕入	(14,040)	売上	(21,600)
営業費	(6,480)		
	(39,780)		(39,780)

問題2 簿記一巡の手続(2)

【解答】

《仕訳》

開始仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1	現金	27,500	買掛金	9,000
	売掛金	10,000	未払営業費	100
	繰越商品	2,500	資本金	45,000
	貸付金	6,000		
	前払営業費	180		
	未収利息	20		
	建物	7,900		

再振替仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1	営業費	180	前払営業費	180
	受取利息	20	未収利息	20
	未払営業費	100	営業費	100

営業仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕入	30,000	買掛金	30,000
(2)	仕入	10,000	現金	10,000
(3)	売掛金	42,000	売上	42,000
(4)	現金	25,500	売上	25,500
(5)	営業費	18,600	現金	18,600
(6)	現金	38,000	売掛金	38,000
(7)	買掛金	31,000	現金	31,000
(8)	現金	240	受取利息	240

決算整理仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕 入	2,500	繰 越 商 品	2,500
	繰 越 商 品	2,800	仕 入	2,800
(2)	営 業 費	150	未 払 営 業 費	150
	前 払 営 業 費	120	営 業 費	120
(3)	未 収 利 息	20	受 取 利 息	20
(4)	減 価 償 却 費	1,080	建 物	1,080

※ 勘定科目は、総勘定元帳で使用されているものを用いること。

《総勘定元帳》(単位：千円)

現 金	建 物																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 27,500</td> <td style="width: 50%;">(2) 仕 入 10,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">(4) 売 上 25,500</td> <td>(5) 営 業 費 18,600</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">(6) 売 掛 金 38,000</td> <td>(7) 買 掛 金 31,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">(8) 受取利息 240</td> <td></td> </tr> </table>	4/1 諸 口 27,500	(2) 仕 入 10,000	(4) 売 上 25,500	(5) 営 業 費 18,600	(6) 売 掛 金 38,000	(7) 買 掛 金 31,000	(8) 受取利息 240		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 7,900</td> <td style="width: 50%;">3/31 減価償却費 1,080</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">買 掛 金</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">(7) 現 金 31,000</td> <td>4/1 諸 口 9,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(1) 仕 入 30,000</td> </tr> </table>	4/1 諸 口 7,900	3/31 減価償却費 1,080	買 掛 金		(7) 現 金 31,000	4/1 諸 口 9,000		(1) 仕 入 30,000
4/1 諸 口 27,500	(2) 仕 入 10,000																
(4) 売 上 25,500	(5) 営 業 費 18,600																
(6) 売 掛 金 38,000	(7) 買 掛 金 31,000																
(8) 受取利息 240																	
4/1 諸 口 7,900	3/31 減価償却費 1,080																
買 掛 金																	
(7) 現 金 31,000	4/1 諸 口 9,000																
	(1) 仕 入 30,000																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">売 掛 金</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 10,000</td> <td style="width: 50%;">(6) 現 金 38,000</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">(3) 売 上 42,000</td> <td></td> </tr> </table>	売 掛 金		4/1 諸 口 10,000	(6) 現 金 38,000	(3) 売 上 42,000		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">未 払 営 業 費</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 営 業 費 100</td> <td style="width: 50%;">4/1 諸 口 100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3/31 営 業 費 150</td> </tr> </table>	未 払 営 業 費		4/1 営 業 費 100	4/1 諸 口 100		3/31 営 業 費 150				
売 掛 金																	
4/1 諸 口 10,000	(6) 現 金 38,000																
(3) 売 上 42,000																	
未 払 営 業 費																	
4/1 営 業 費 100	4/1 諸 口 100																
	3/31 営 業 費 150																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">繰 越 商 品</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 2,500</td> <td style="width: 50%;">3/31 仕 入 2,500</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">3/31 仕 入 2,800</td> <td></td> </tr> </table>	繰 越 商 品		4/1 諸 口 2,500	3/31 仕 入 2,500	3/31 仕 入 2,800		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">資 本 金</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 45,000</td> </tr> </table>	資 本 金			4/1 諸 口 45,000						
繰 越 商 品																	
4/1 諸 口 2,500	3/31 仕 入 2,500																
3/31 仕 入 2,800																	
資 本 金																	
	4/1 諸 口 45,000																
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">貸 付 金</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 6,000</td> <td></td> </tr> </table>	貸 付 金		4/1 諸 口 6,000														
貸 付 金																	
4/1 諸 口 6,000																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">前 払 営 業 費</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 180</td> <td style="width: 50%;">4/1 営 業 費 180</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">3/31 営 業 費 120</td> <td></td> </tr> </table>	前 払 営 業 費		4/1 諸 口 180	4/1 営 業 費 180	3/31 営 業 費 120												
前 払 営 業 費																	
4/1 諸 口 180	4/1 営 業 費 180																
3/31 営 業 費 120																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">未 収 利 息</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black;">4/1 諸 口 20</td> <td style="width: 50%;">4/1 受取利息 20</td> </tr> <tr> <td style="border-right: 1px solid black;">3/31 受取利息 20</td> <td></td> </tr> </table>	未 収 利 息		4/1 諸 口 20	4/1 受取利息 20	3/31 受取利息 20												
未 収 利 息																	
4/1 諸 口 20	4/1 受取利息 20																
3/31 受取利息 20																	

仕 入		売 上	
(1) 買掛金 30,000	3/31 繰越商品 2,800	(3) 売掛金 42,000	
(2) 現金 10,000		(4) 現金 25,500	
3/31 繰越商品 2,500			
営 業 費		受 取 利 息	
4/1 前払営業費 180	4/1 未払営業費 100	4/1 未収利息 20	(8) 現金 240
(5) 現金 18,600	3/31 前払営業費 120		3/31 未収利息 20
3/31 未払営業費 150			
減 価 償 却 費			
3/31 建 物 1,080			

《試算表》

決算整理前試算表

(単位：千円)

現 金 (31,640)	買 掛 金 (8,000)
売 掛 金 (14,000)	資 本 金 (45,000)
繰 越 商 品 (2,500)	売 上 (67,500)
貸 付 金 (6,000)	受 取 利 息 (220)
建 物 (7,900)	
仕 入 (40,000)	
営 業 費 (18,680)	
(120,720)	(120,720)

決算整理後試算表

(単位：千円)

現 金 (31,640)	買 掛 金 (8,000)
売 掛 金 (14,000)	未 払 営 業 費 (150)
繰 越 商 品 (2,800)	資 本 金 (45,000)
貸 付 金 (6,000)	売 上 (67,500)
前 払 営 業 費 (120)	受 取 利 息 (240)
未 収 利 息 (20)	
建 物 (6,820)	
仕 入 (39,700)	
営 業 費 (18,710)	
減 価 償 却 費 (1,080)	
(120,890)	(120,890)

問題3 簿記一巡の手続(3)

【解答】

問1 決算整理前残高試算表 (単位：千円)

現 金	(1,690)	買 掛 金	(2,180)
売 掛 金	(2,300)	資 本 金	(2,000)
繰 越 商 品	(500)	売 上	(8,000)
仕 入	(6,000)		
営 業 費	(1,690)		
	(12,180)		(12,180)

問2

(1) 収益及び費用の損益勘定への振替 (単位：千円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
3/31	売 上	8,000	損 益	8,000
〃	損 益	7,700	仕 入	5,900
			営 業 費	1,800

(2) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替 (単位：千円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
3/31	損 益	300	繰越利益剰余金	300

(3) 資産、負債及び純資産(資本)の残高勘定への振替 (単位：千円)

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
3/31	残 高	4,640	現 金	1,690
			売 掛 金	2,300
			繰 越 商 品	600
			前 払 営 業 費	50
〃	買 掛 金	2,180	残 高	4,640
	未 払 営 業 費	160		
	資 本 金	2,000		
	繰越利益剰余金	300		

問3

損 益

(単位：千円)

日付	摘 要	金 額	日付	摘 要	金 額
3/31	仕 入	5,900	3/31	売 上	8,000
"	営 業 費	1,800		/	
"	繰越利益剰余金	300			
		8,000			8,000

残 高

(単位：千円)

日付	摘 要	金 額	日付	摘 要	金 額
3/31	現 金	1,690	3/31	買 掛 金	2,180
"	売 掛 金	2,300	"	未 払 営 業 費	160
"	繰 越 商 品	600	"	資 本 金	2,000
"	前 払 営 業 費	50	"	繰越利益剰余金	300
		4,640			4,640

【解答への道】(単位：千円)

1 開始手続

(1) 開始仕訳

現 金	1,540		買 掛 金	1,980
売 掛 金	2,000		未 払 営 業 費	100
繰 越 商 品	500		資 本 金	2,000
前 払 営 業 費	40			

(2) 再振替仕訳

営 業 費	40		前 払 営 業 費	40
未 払 営 業 費	100		営 業 費	100

2 営業手続

仕	入	6,000	／	買	掛	金	6,000
売	掛	金	8,000	／	売	上	8,000
現	金	7,700	／	売	掛	金	7,700
買	掛	金	5,800	／	現	金	5,800
営	業	費	1,750	／	現	金	1,750

3 決算手続

(1) 決算整理前残高試算表 (問1)

決算整理前残高試算表

現	金	1,690	買	掛	金	2,180	
売	掛	金	2,300	資	本	金	2,000
繰	越	商	品	500	売	上	8,000
仕	入	6,000					
営	業	費	1,690				
<hr/>			<hr/>				
12,180			12,180				

(2) 決算整理仕訳

仕	入	500	／	繰	越	商	品	500		
繰	越	商	品	600	／	仕	入	600		
前	払	営	業	費	50	／	営	業	費	50
営	業	費	160	／	未	払	営	業	費	160

(3) 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表

現	金	1,690	買	掛	金	2,180			
売	掛	金	2,300	未	払	営	業	費	160
繰	越	商	品	600	資	本	金	2,000	
前	払	営	業	費	50	売	上	8,000	
仕	入	5,900							
営	業	費	1,800						
<hr/>			<hr/>						
12,340			12,340						

仕		入	
5/5 買掛金	6,000	3/31 繰越商品	600
3/31 繰越商品	500	" 損益	5,900
	<u>6,500</u>		<u>6,500</u>

営		業		費	
4/1 前払営業費	40	4/1 未払営業費	100		
12/12 現金	1,750	3/31 前払営業費	50		
3/31 未払営業費	160	" 損益	1,800		
	<u>1,950</u>		<u>1,950</u>		

買		掛		金	
10/10 現金	5,800	4/1 諸口	1,980		
3/31 残高	2,180	5/5 仕入	6,000		
	<u>7,980</u>		<u>7,980</u>		

未		払		営		業		費	
4/1 営業費	100	4/1 諸口	100						
3/31 残高	160	3/31 営業費	160						
	<u>260</u>		<u>260</u>						

資		本		金	
3/31 残高	2,000	4/1 諸口	2,000		

繰		越		利		益		剰		余		金	
3/31 残高	300	3/31 損益	300										

売		上	
3/31 損益	8,000	7/7 売掛金	8,000

損		益	
3/31 仕入	5,900	3/31 売上	8,000
" 営業費	1,800		
" 繰越利益剰余金	300		
	<u>8,000</u>		<u>8,000</u>

残		高	
3/31 現金	1,690	3/31 買掛金	2,180
" 売掛金	2,300	" 未払営業費	160
" 繰越商品	600	" 資本金	2,000
" 前払営業費	50	" 繰越利益剰余金	300
	<u>4,640</u>		<u>4,640</u>

問題4 英米式簿記法

【解答】

問1

収益・費用の損益勘定への振替

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	売上	12,000	損益	12,000
〃	損益	11,400	仕入	7,800
			営業費	3,600

当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31	損益	600	繰越利益剰余金	600

《総勘定元帳》(単位：円)

現 金	
4/1 前期繰越 9,000	(1) 仕入 8,000
(2) 売上 12,000	(3) 営業費 3,500
	3/31 次期繰越 9,500
<u>21,000</u>	<u>21,000</u>

未払営業費	
4/1 営業費 200	4/1 前期繰越 200
3/31 次期繰越 300	3/31 営業費 300
<u>500</u>	<u>500</u>

繰越商品	
4/1 前期繰越 1,000	3/31 仕入 1,000
3/31 仕入 1,200	〃 次期繰越 1,200
<u>2,200</u>	<u>2,200</u>

資 本 金	
3/31 次期繰越 9,800	4/1 前期繰越 9,800

繰越利益剰余金	
3/31 次期繰越 600	3/31 損益 600

仕 入	
(1) 現金 8,000	3/31 繰越商品 1,200
3/31 繰越商品 1,000	〃 損益 7,800
<u>9,000</u>	<u>9,000</u>

売 上	
3/31 損益 12,000	(2) 現金 12,000

営 業 費				損		益	
(3) 現 金	3,500	4/1 未払営業費	200	3/31 仕 入	7,800	3/31 売 上	12,000
3/31 未払営業費	300	3/31 損 益	3,600	〃 営業費	3,600		
	<u>3,800</u>		<u>3,800</u>	〃 繰越利益剰余金	600		
					<u>12,000</u>		<u>12,000</u>

問2

繰越試算表				(単位：円)	
現 金	(9,500)	未 払 営 業 費	(300)		
繰越商品	(1,200)	資 本 金	(9,800)		
		繰越利益剰余金	(600)		
	<u>(10,700)</u>		<u>(10,700)</u>		

問題5 費用・収益の見越・繰延(1)

【解答】

(1) 当期末における決算整理仕訳

(単位：円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
支 払 地 代	3,500	未 払 地 代	3,500
前 払 利 息	1,700	支 払 利 息	1,700
受 取 手 数 料	4,200	前 受 手 数 料	4,200
未 収 利 息	3,100	受 取 利 息	3,100

(2) 決算整理後残高試算表

決算整理後残高試算表 (単位：円)

支 払 地 代	(42,000)	受 取 手 数 料	(41,900)
支 払 利 息	(25,300)	受 取 利 息	(18,700)
(前 払 利 息)	(1,700)	(未 払 地 代)	(3,500)
(未 収 利 息)	(3,100)	(前 受 手 数 料)	(4,200)

問題6 費用・収益の見越・繰延(2)

【解答】

決算整理後残高試算表		(単位：円)	
(前払) 保険料 (1,500)	借入金 100,000		
支払保険料 (4,500)	(未払) 利息 (250)		
支払利息 (1,750)			

【解答への道】(単位：円)

1 期中処理

(1) 保険料の支払(7月1日)

支払保険料 6,000	現金預金 6,000
-------------	------------

(2) 借入(9月1日)

現金預金 100,000	借入金 100,000
--------------	-------------

(3) 利息の支払(2月末日)

支払利息※ 1,500	現金預金 1,500
-------------	------------

$$\text{※ } 100,000 \times 3\% \times \frac{6\text{月}}{12\text{月}} = 1,500$$

2 決算整理前残高試算表

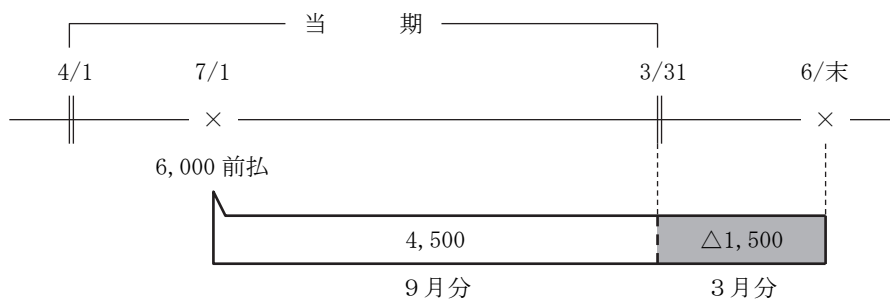
決算整理前残高試算表			
支払保険料 6,000	借入金 100,000		
支払利息 1,500			

3 決算整理

(1) 保険料の繰延

前払保険料	1,500	/	支払保険料※	1,500
-------	-------	---	--------	-------

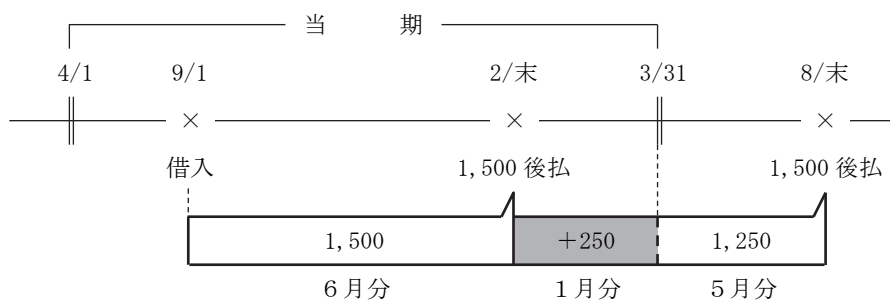
$$\text{※ } 6,000 \times \frac{3\text{月}}{12\text{月}} = 1,500$$



(2) 利息の見越

支払利息※	250	/	未払利息	250
-------	-----	---	------	-----

$$\text{※ } 100,000 \times 3\% \times \frac{1\text{月}}{12\text{月}} = 250$$



問題7 費用・収益の見越・繰延(3)

【解答】

決算整理後残高試算表

(単位：円)

(前 払) 保険料	(400)	
支 払 保 険 料	(600)	

支払保険料

(単位：円)

4/1 (前 払 保 険 料)	(400)	3/31 (前 払 保 険 料)	(400)
12/1 現 金 預 金	(600)	〃 損 益	(600)
	(1,000)		(1,000)

【解答への道】(単位：円)

1 決算整理前残高試算表の支払保険料

本問の前T/Bの支払保険料1,000は、12月分の保険料ではなく、20月分の保険料である。なぜなら、問題の【資料2】に「D社は每期12月1日に1年分の保険料を前払いしている。」とあるため、前T/Bの支払保険料は、前期で支払った8月分と当期で支払った12月分を合算した20月分が計上されている。これを具体的に示すと次のとおりになる。

(1) 前期

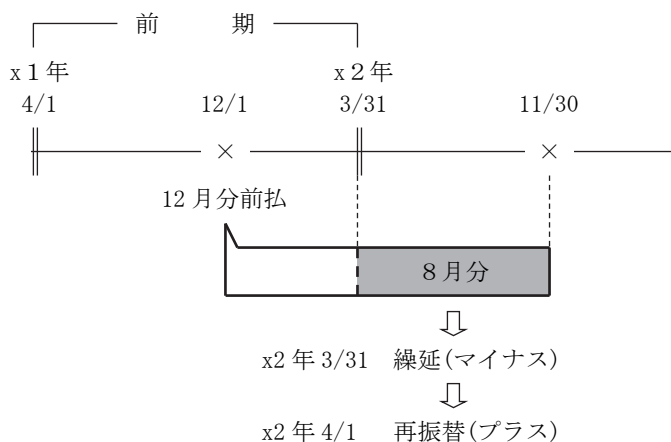
① 保険料支払時 (x1年12月1日)

支 払 保 険 料	12月分	/	現 金 預 金	12月分
-----------	------	---	---------	------

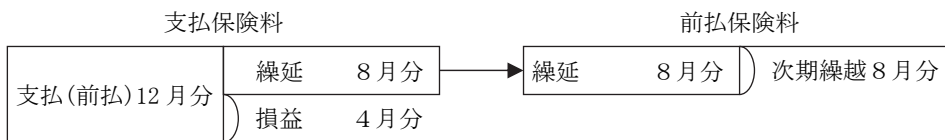
② 決算整理 (x2年3月31日)

前 払 保 険 料	8月分	/	支 払 保 険 料※	8月分
-----------	-----	---	------------	-----

※



③ 勘定記入



(2) 当期

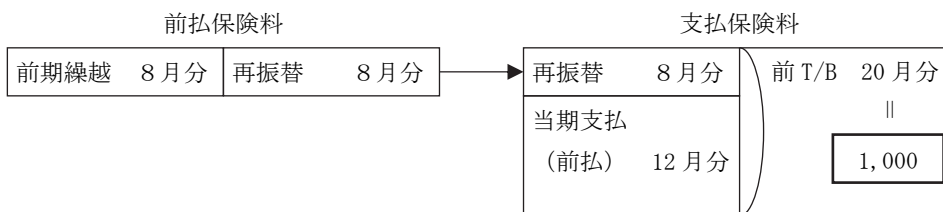
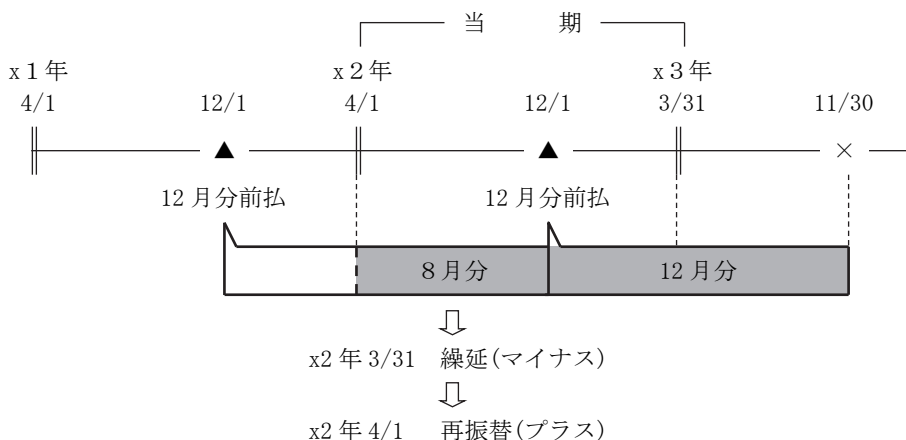
① 再振替 (x 2年 4月 1日)

支払保険料 8月分	前払保険料 8月分
-----------	-----------

② 保険料支払時 (x 2年 12月 1日)

支払保険料 12月分	現金預金 12月分
------------	-----------

③ 前T/Bの支払保険料



2 決算整理 (x 3年 3月 31日)

前払保険料 400	支払保険料※ 400
-----------	------------

※ 前T/B支払保険料1,000 × $\frac{8月}{20月}$ = 400

確認 1

【解答】

問 1

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	9,500	未払費用	100
繰越商品	2,500	借入金	5,000
		資本金	6,000
		繰越利益剰余金	900

問 2

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
未払費用	100	支払利息	100

問 3

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	32,000	現金	32,000
2	現金	40,000	売上	40,000
3	営業費	5,800	現金	5,800
4	支払利息	150	現金	150

問 4

(単位：千円)

①	11,550	②	5,800	③	50	④	40,000
---	--------	---	-------	---	----	---	--------

問 5

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	2,500	繰越商品	2,500
	繰越商品	3,000	仕入	3,000
2	支払利息	100	未払費用	100

問 6

(単位：千円)

①	3,000	②	31,500	③	150	④	100
---	-------	---	--------	---	-----	---	-----

問7

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	売上	40,000	損益	40,000
(2)	損益	37,450	仕入	31,500
			営業費	5,800
			支払利息	150
(3)	損益	2,550	繰越利益剰余金	2,550

問8

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	残高	14,550	現金	11,550
			繰越商品	3,000
(2)	未払費用	100	残高	14,550
	借入金	5,000		
	資本金	6,000		
	繰越利益剰余金	3,450		

【解答への道】(単位：千円)

I 各時点における仕訳については解答を参照のこと

(注)勘定科目については問題で使われているものを使用することが必要であり、それ以外の勘定科目は不正解となる。 <正>未払費用 <誤>未払利息

II 簿記一巡の流れ

1 開始手続

(1) 開始仕訳 ⇨ 問1

(2) 再振替仕訳 ⇨ 問2

2 営業手続 ⇨ 問3

(1) 現金仕入

(2) 現金売上

(3) 営業費の支払

(4) 利息の支払： $5,000 \times 3\% = 150$

3 決算手続

(1) 決算整理前残高試算表（帳簿外） ⇨ 問4

借方		貸方	
現金	① 11,550	借入金	5,000
繰越商品	2,500	資本金	6,000
仕入	32,000	繰越利益剰余金	900
営業費	② 5,800	売上	④ 40,000
支払利息	③ 50		
	51,900		51,900

(2) 決算整理仕訳 ⇨ 問5

- ① 売上原価の算定
- ② 利息の見越計上

$$5,000 \times 3\% \times \frac{8\text{月}}{12\text{月}} = 100$$

(3) 決算整理後残高試算表（帳簿外） ⇨ 問6

借方		貸方	
現金	11,550	未払費用	④ 100
繰越商品	① 3,000	借入金	5,000
仕入	② 31,500	資本金	6,000
営業費	5,800	繰越利益剰余金	900
支払利息	③ 150	売上	40,000
	52,000		52,000

(4) 決算振替仕訳 ⇨ 問7及び問8

- ① 収益の損益勘定への振替
- ② 費用の損益勘定への振替
- ③ 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

$$\text{収益総額} 40,000 - \text{費用総額} 37,450 = 2,550$$

④ 損益勘定

		損		益	
3/31	仕 入	31,500		3/31	売 上 40,000
〃	営 業 費	5,800			
〃	支 払 利 息	150			
〃	繰 越 利 益 剰 余 金	2,550			
		<u>40,000</u>			<u>40,000</u>

⑤ 資産の残高勘定への振替

⑥ 負債及び純資産の残高勘定への振替

⑦ 残高勘定

		残		高	
3/31	現 金	11,550		3/31	未 払 費 用 100
〃	繰 越 商 品	3,000		〃	借 入 金 5,000
		<u>14,550</u>		〃	資 本 金 6,000
				〃	繰 越 利 益 剰 余 金 ※ 3,450
					<u>14,550</u>

※ 後 T/B 900 + 当期純利益 2,550 = 3,450

トレーニング・シート

※問題タイトル右側に（シートあり）と記載している問題の 解答用紙 を掲載しています。

問題 1 簿記一巡の手続(1)

問 1

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問 2

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額

問 3

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				

問 4

決算整理前残高試算表

(単位：千円)

現	金 ()	資	本	金 ()
繰	越	商	品	上 ()
仕	入 ()			
営	業	費		
	()			()

問5

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				

問6

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

現	金 ()	未	払	営	業	費 ()
繰	越	商	品 ()	資	本	金 ()
仕	入 ()	売		上 ()		
営	業	費 ()				
	()					()

問題 2 簿記一巡の手続(2)

《仕訳》

開始仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1				

再振替仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
4/1				

営業仕訳

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				

決算整理仕訳

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

《試算表》

決算整理前試算表

(単位：千円)

現	金	()	買	掛	金	()
売	掛	金	資	本	金	()
繰	越	商	売		上	()
貸	付	金	受	取	利	息
建		物				
仕		入				
営	業	費				
		()				()

決算整理後試算表

(単位：千円)

現	金	()	買	掛	金	()
売	掛	金	未	払	営	業
繰	越	商	資	本	金	()
貸	付	金	売		上	()
前	払	営	受	取	利	息
未	収	利				
建		物				
仕		入				
営	業	費				
減	価	却				
		()				()

問題 3 簿記一巡の手続(3)

問 1 (単位：千円)

決算整理前残高試算表

現	金	()	買	掛	金	()
売	掛	金	資	本	金	()
繰	越	商	売		上	()
仕		入				
営	業	費				
		()				()

問 2 (単位：千円)

(1) 収益及び費用の損益勘定への振替

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31				
〃				

(2) 当期純利益の繰越利益剰余金勘定への振替

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31				

(3) 資産、負債及び純資産(資本)の残高勘定への振替

	借方科目	金額	貸方科目	金額
3/31				
〃				

問2 (単位:円)

繰越試算表

現	金	()	未払営業費	()
繰越	商品	()	資本金	()
			繰越利益剰余金	()
				()

確認 1

問 1

(単位：千円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問 2

(単位：千円)

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問 3

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				

問 4

(単位：千円)

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

問5

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

問6

(単位：千円)

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

問7

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				

問8

(単位：千円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				